

令和 6 年度在宅医療・介護連携市民講演会

「自宅看取り」と「施設看取り」市民講演会 アンケート結果 (R6.10.20 開催分)

参加者：71 名 (50 代／6 名・60 代／12 名・70 代／24 名・80 代／10 名・その他・無記入 9 名)

アンケート提出者：61 名 (男性 13 名/女性 37 名/無記入 11 名))

問 1. 長期療養や介護が必要になったときにどこで過ごしたいですか。(複数回答あり)

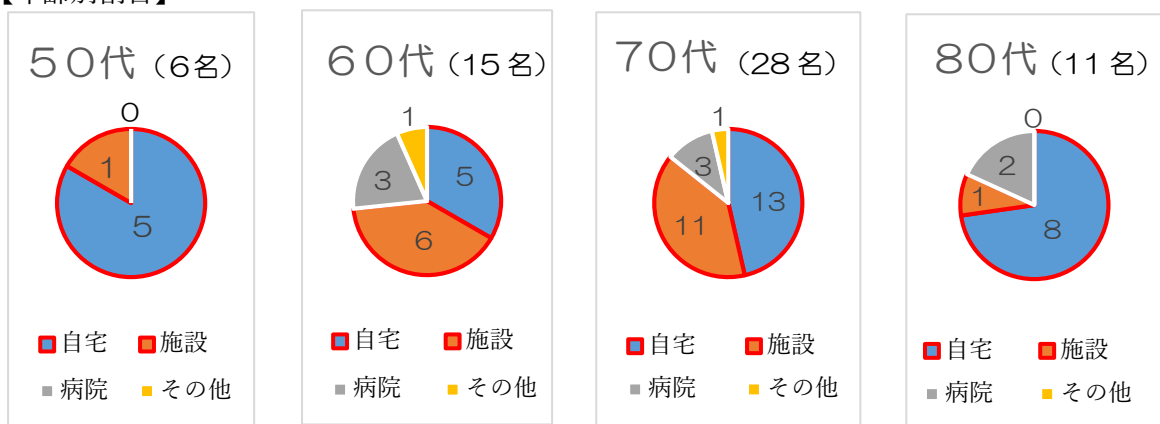
自宅 31 名

施設 19 名

病院 8 名

その他 2 名

【年齢別割合】



問 2. 問 1 で【自宅】と答えた方は、実現可能だと思いますか。

可能 7 名

不可能 13 名

わからない 16 名

問 3. 問 2 で【不可能】【わからない】と答えた方は、その理由を教えてください。(複数回答あり)

経済面 5 名

家族への負担 20 名

家族がいない 5 名

積極的な治療ができない 2 名

在宅で受けられる医療・介護サービスがわからない 4 名

問 4. 講演会の時間はいかがでしたか？

長い 7 名

ちょうどよい 50 名

短い 3 名

問 5. 講演会の内容はいかがでしたか？

参考になった 56 名

参考にならなかった 0 名

どちらでもない 2 名

【意見・感想】

- ・さまざまな意味で参考になり、参加してよかった。
- ・具体的に詳しく話していただき、安心できた。
- ・知識が増えて、不安が減った。
- ・家族でも自分の意思について話し合っていきたいと思った。
- ・看取りについて考えるきっかけになった。
- ・先生方の人間性が出ていて、心温まるお話だった。
- ・自分の考えている生き方でよいと確信が持てたと同時に、看護が非常に進んでいると認識した。
- ・なかなか聞けない話を聞くことができて貴重だった。自分の死生観についてしっかり学ぼうと思った。
- ・特養のイメージが変わった。自宅看取りと決めていたが、選択肢が増えた。
- ・詳細な情報を知る機会がなかったので参考になった。気になっていたことなのでとてもよかった。
- ・地域でどのような在宅での医療ができるか、訪問看護事業所があるか参考になった。
- ・司会の河内先生、市職員の方の説明がとてもわかりやすかった。また、講師の方々もとても細かく説明してくださり、参考になった。
- ・今年中に親を介護する予定なので、内容が身近に感じられた。
- ・介護している義母のために参加したが、自分自身の死についても考える機会になった。施設看取りについて具体的な例を示していただき、とても参考になった。自宅で看取らなければならないと思っていたが、少し違う考え方でよいのではと思えるようになった。
- ・看取りにかかわる主治医や看護師、利用者や家族との信頼関係が大切だと思った。今後役立つと思う。
- ・同居の母、自分の母が高齢で、自分も 60 代。いつどうなるかわからないので考えるきっかけになった。
- ・多くの資料をいただけて助かった。
- ・このような催しを今後もすすめていただきたい。
- ・定期的に開催してほしい。
- ・施設や病院の役割がわかった。
- ・他施設の話も聞きたい。入所者の方の話も聞きたい。
- ・家族・施設等の対応だけでは介護をすべてまかなうことはできないように感じた。助け合いが必要。
- ・訪問看護については具体的でわかりやすかったが、印西市の訪問診療に関して詳しく知りたかった。
- ・介護保険について詳しく知りたい。



～会場風景～